

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう高木1組

公表日

2026年 1月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・人数によって部屋を使い分けている。	活動ごとにゾーニング（静かに過ごす場所、運動する場所など）を行い、空間を効率的に使用する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・ヘルプを呼び、適切な人員配置にしている。	活動内容やこどもの状態に応じて、一時的な職員増員や活動調整を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・ルールや手順書等を事業所内に貼り、わかりやすくしている。	視覚支援カード、掲示物、ピクトグラム等を活用して、こどもが理解しやすい情報提供を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日の清掃については消毒作業も行っている。	利用状況やこどもの行動を観察し、必要に応じて家具配置や備品を見直す仕組みを作る。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・事務所を活用することもある。	いつ・どのように利用できるかを職員間で共有し、子どもにもわかりやすく伝える。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・日々目標の設定とその経過について話し、共有している。	目標設定や振り返りの方法、改善策の考え方について定期的に研修や共有会を実施する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・評価を受け、改善策を話し合い実行している。	評価結果と改善内容を分かりやすく保護者に報告し、意見が活かされていることを伝える。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・個別面談、アンケート、定例会議やワークショップなど複数の方法を組み合わせ、全職員が意見を出しやすい機会を設けている。	意見収集と改善策の効果を定期的に評価し、PDCAサイクルを回す仕組みを整える。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		評価結果を職員に分かりやすく伝え、改善策を検討する会議やワークショップを設ける。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・定期的に研修や講演会の情報共有がされている。	研修後に学んだことを業務に活かすフォローアップや振り返りの場を設ける。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		目標、支援内容、期待される効果を明確にし、誰でも理解できる形で作成する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・子どもの意見を聞く時間をしっかりとっている。	支援目標、活動内容、期待される成果を具体的に示し、実施方法を明確化する。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・日々気付いたことを話しあっている。	定期的な会議や情報共有の場を設け、計画内容や支援方針を全職員で共有する。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・定期的にミーティングして共有認識がとれている。	定期的な支援状況や成果を振り返り、必要に応じて計画を修正・改善するPDCAサイクルを整備する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		標準化された評価ツールと日々の記録を組み合わせ、こどもの適応行動を多角的に把握する。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・各項目ごとに実施内容、方法、頻度、担当職員などを具体的に設定し、日々の支援に直結する計画となるよう工夫している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・チームで話し合いながら、個々のこどもの発達状況や興味・関心、課題に応じた活動内容を調整している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・各週ごとで替わるようになっている。 ・2つ活動を行う等している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・子どもの発達段階や興味・課題に応じて、集団活動を柔軟に組み合わせ、最適な学びや成長の機会を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・毎朝のミーティングを行なえている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2		送迎が遅い時等、難しいことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・書いてほしいことを他の職員に伝えられていた。 ・チーム内で記録を共有し、支援方法や活動内容の効果を検討する場を設け、改善策を協議している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・モニタリング結果をチームで共有し、支援状況やこどもの反応を複数の視点から評価して、見直しの必要性を検討している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	・こどもの発達段階や興味に応じて、個別支援と集団活動の中で4つの基本活動を組み合わせ、学びや経験の幅を広げている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・子どもの意思を聞くように心がけていた。	発達段階や特性に応じて、自己決定の練習を支援計画に組み込み、段階的に自主性を育む。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・子どもの特性や日常の様子をよく理解し、具体的な支援情報を提供している。		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・送迎時等を活用して学校の先生と連携する。		

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・送迎時の対応やトラブル発生時の連絡先・手順を明確化し、職員間および学校とのスムーズな連絡ができるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・得られた情報を記録し、全職員で共有することで、入所初期から一貫した支援を行えるよう工夫している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		卒業前に段階的に必要な情報を整理し、移行先へタイムリーかつ分かりやすく提供できる仕組みを作る。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0		児童発達支援センターの研修や講座に職員が参加できるよう調整し、知識や技能の向上を図る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもも活動する機会があるか。	7	2	・遊びや体験活動など、こども同士で協力や役割分担ができる内容を選び、交流を通して社会性やコミュニケーション能力を育むよう工夫している。	交流時の安全管理ルールや職員配置を明確にし、安心して活動できる環境を整える。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	・協議会で得た情報や助言を記録・整理し、全職員と共有して支援や計画作成に活かしている。	職員の業務負担や日程調整の都合で、協議会への参加が限定的になり、情報収集や意見交換の機会が十分でない場合がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時に話をしっかりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・家族の要望や相談内容を踏まえ、プログラムや研修内容を柔軟に調整し、より効果的な支援につなげている。	家族向けの研修などは設定されていなかったため、今後の課題として行っていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・説明後に質問や意見を受け付け、家族が十分に理解できているか確認し、不明点には個別に対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・支援中や送迎時に話をする時間をとっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・説明中に保護者の意見や質問を積極的に受け入れ、こどもの状況や家庭の希望を反映させながら計画内容を調整している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・面談や電話、コドモン等で、家族が気軽に相談できる体制を整え、心理的なハードルを下げている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・父母の会や保護者会を定期的に開催し、保護者同士が情報交換や悩み相談ができる場を提供している。	開催頻度により、参加できる保護者が限られ、交流の機会が十分でない場合がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・第三者からの苦情を真摯に受け止め改善に繋げている。 ・苦情があり次第、共有してミーティングしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	コドモンにも写真を添付している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・肖像権等をしっかり確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・発達段階や障害特性に応じて、説明の仕方やコミュニケーション方法を工夫し、理解度に合わせた伝え方をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・お祭りなどを行っている ・チラシ、掲示板、ホームページやコドモンを活用して行事情報を事前に周知し、地域住民の参加を促している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・避難訓練したり、壁紙を貼ったりしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・災害時の行動や避難方法をこどもに分かりやすく説明し、安心して訓練に参加できるよう配慮している。	風速20m/s以上などの基準値を設け、休所などにする。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・帰宅後に連絡ノートを確認、昼食前に服薬の確認をして共有している。 ・おやつ買ひ等も気を付けている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・職員への研修や定期的な勉強会を通じて、アレルギー対応の知識や緊急時対応の手順を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルを作成し、支援内容や日常の安全管理の手順を明確化している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・家族からの質問や意見を受け付け、内容を確認しながら安全対策への理解と納得を得るようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		書き忘れや振り返り不足による改善策の継続性の課題を改善する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・定期的に研修している ・日々の支援での気付きやリスク情報を職員間で共有し、虐待の兆候に早期対応できる体制を整えている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・こどもや保護者に対して、身体拘束を行う可能性や内容を事前に十分説明し、理解・同意を得てから計画に反映している。		
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>こどもたちが安心して楽しく過ごせる環境づくりに努め、活動スペースや設備の工夫、専門性のある支援にご満足いただき、個別支援計画に沿ったきめ細やかな支援や、家庭との情報共有も丁寧に行っています。</p> <p>今後も、安全・安心の確保と豊かな体験の提供に力を入れ、こどもと保護者の双方をサポートしてまいります。</p>						